



日本共産党市会議員

2016年07月21日

庄本けんじ

携帯 090-6665-9401

議員控え室 0798-35-3368

活動ニュース

6月議会報告

私は6月議会で一般質問に立ち、新名神橋げた落下事故問題、高塚町の4haの大規模開発問題、アスベスト対策について質問しました。

新名神高速道橋げた落下事故について 日本共産党国会、県会、市議会議員が現地調査

新名神高速道路の橋げた落下事故は、作業員2人が死亡し、8人がけがをするという重大事故でした。同時に、この事故は、国道176号が不通となったため、客足が途絶えるなど、西宮の住民に多大な損害あたえ、不便な生活を強いることとなりました。私は、事故発生後、幾度か現地を訪れ、日本共産党国会議員、県会議員も現地を調査し、住民の声を聴きました。



日本共産党西宮市議団市に申し入れ 6月8日 市議会建設常任委員会現地視察

現地調査を踏まえ、5月17日、日本共産党西宮市議会議員団は、西宮市にたいし、住民や商店の実情を把握して必要な対策をとること、交通安全に万全を期すこと、NEXCOと国にたいし必要な申し入れと要求をすること、などを申し入れました。また、市議会としても、建設常任委員会が現地を視察しました。

一般質問であらためて要求

一般質問では、あらためて、市が実施している支援や交通安全対策を強めることを求めるとともに、NEXCO西日本にたいして、事故の徹底究明と、被害補償については、現地商店の声をしめし、誰もが納得ができる方法で行うべきことを強く要求しました。

アスベスト対策について

アスベスト含有建材使用建物解体急増

質問でとりあげたアスベスト対策については、アスベストが大量使用された時期に建設された多くの建物が、老朽化によって、いっせいに解体の時期を迎え、これから2040年にかけて、解体のピークに向かうことを指摘したうえで、アスベスト対策を抜本的に強化するよう求めました。

アスベスト対策目標は飛散ゼロをめざせ

アスベストは、「静かな時限爆弾」などと言われ、人体に重大な影響を与えます。対策の強化は待ったなしの課題です。

現在、解体現場への立ち入り調査の目標値は、現在50%です。この目標値をあらためて100%とすることを求めると同時に、対策の目標を、飛散ゼロ、曝露ゼロとするよう迫りました。

当局は、考え方としては飛散ゼロをめざすべきと答弁しました。抜本強化が求められます。



市が実施した対策

- ◎短期事業資金融資利用者に利子補給
- ◎市税や国保料の減免、猶予

新名神橋げた落下事故 市議会が意見書を採択

市議会は、日本共産党西宮市議会議員団提案の「新名神高速道路橋桁落下事故に関する意見書」が全会派賛成により可決されました。

高塚の山(稻荷山)を壊さないで

西宮市高塚町にある小高い山。4 h aにまでひろがる緑に覆われた山。この山が開発業者の手にわたり、バッサリと削り落とされようとしています。周辺に住む人たちは、何十年も慣れ親しんできた緑の山を壊さないで！とみんなで声をあげています。

6月市議会で、庄本けんじ市会議員がこの問題を取り上げました。



みんなの力で守ろう高塚の山

壊された自然は元には戻せない

私は、この問題の質問の前提として、まず、「自然は、いったん壊してしまったら、後戻りすることができません」と厳しく指摘しました。

当然、市は、4 h aにもなる広い土地を擁した緑に覆われた小高い山が、民間業者の手に移って、開発されることになったら、市の大方針に照らして、どんなことになるのか、しっかりと吟味してしかるべきことです。ところが、市は私の質問に対する答弁で、「50 h a以上の住宅団地造成事業について、評価を実施する必要がありますが、当該開発計画地は、4 h aであることから、その対象となっておりません」とのべ、何の検討もしていないことを表明しました。

とんでもないことです。



検討のチャンスはあった

「公有地の拡大の推進に関する法律」というのがあります。この法律によると、一定規模以上の土地を譲渡しようとするとき、市長に届け出をする義務があります。高塚の山も届け出がされています。2014年秋です。

市はこの届け出を受けたとき、高塚の山が開発によって削り取られた場合の影響について、何らかの吟味をし、緑の計画や景観計画など市の方針に照らして、どうすべきかを検討するチャンスがあったはずですが、ところが一切検討していないことが、質問のやり取りの中で明らかとなりました。

市は、何らかの関与をして、自然と住環境破壊の乱開発を食い止めるべきです。

石在町マンション建設請願採択

私も紹介議員となった「石在町100番高層マンション建設計画についての請願」が全会派賛成で採択。